

報道関係各位

2020年2月7日
日本医用アイソトープ株式会社

商用原子炉を用いた医用アイソトープ^oの製造に関する共同研究の実施のお知らせ

日本医用アイソトープ株式会社（東京都中央区 代表取締役社長：川田裕美）は、本年1月、東京都市大学（東京都世田谷区 学長：三木千壽）と商用原子炉等を用いた医用アイソトープの製造に関する共同研究を開始することで合意いたしましたのでお知らせします。本研究は、東京都市大学工学部原子力安全工学科 高木直行（たかき なおゆき）教授を中心とするグループによって実施されます。

核医学診断で利用件数が最も多いテクネチウム製剤（放射性医薬品）の原料である放射性同位元素モリブデン-99（Mo-99）については、我が国はその100%を輸入に依存しており、生産国の原子炉の故障等により、世界的なMo-99の供給不足が生じるという問題が度々発生しています。この問題の解決のため、既存の商用炉、今後再稼働及び建設が見込まれる研究用原子炉等を活用し、天然モリブデン（Mo-98）に中性子を照射することによりMo-99を生成し、テクネチウム製剤の国産化を推進するための研究を行います。

当該製造法は、従前より諸外国で実用化されているウラン-235の核分裂法によってMo-99を製造する方法とは本質的に異なるものであって、とりわけ商用炉を活用する場合の照射法、また照射後のMo-99の抽出法等についての新規の技術開発が必要となるものと見込まれているところ、本研究においては、その基礎となる実現可能性にかかる検討を行うこととしています。このほか、アクチニウム-225を含めたMo-99以外の核医学用の核種についても同様に国内需給が逼迫していることから、これらの核種の国内製造への応用可能性にかかる検討を実施します。

日本医用アイソトープ株式会社について

Mo-99を含めた医用アイソトープ製造にかかる技術開発等を行うことを目的とし、一般社団法人日本医用アイソトープ開発準備機構（東京都文京区 理事長：畑澤順）及び日本医用アイソトープ技術開発株式会社（東京都中央区 代表取締役社長：諸岡健雄）の協力を得て2020年1月に設立。

<本件に関するお問合せ先>

日本医用アイソトープ株式会社

川田裕美：090-7554-8471、渋谷正則：080-5934-9245